

観葉植物を用いた空気浄化装置等の開発【INPIT 愛知県知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社プラネット

所在地	愛知県豊橋市		
ホームページ URL	http://www.g-planet.com/		
設立年	1990 年	業 種	農林水産業
従業員数	86 人	資本金	2,000 万円

企業紹介

当社は自然環境のなかで共生する「植物の持つ力」から学び、循環、持続型の「植物型企業経営」の考え方をしっかり定着させることで、事業の独自性と差別化を行っています。植物がしっかり根を張って木（幹）を成長させていくように社員教育と働き甲斐のある環境づくりを大切にしています。

相談のきっかけ

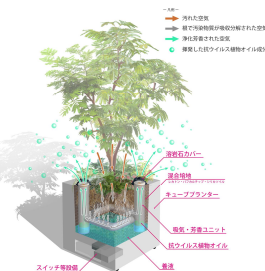
同社は平成 28 年より化学肥料・農薬を使用しないナチュラルオーガニック栽培を目指しており、自然界の微生物が生息することを特徴とする有機液体肥料および有機固形肥料の開発において共同特許出願を検討するにあたり、INPIT 愛知県知財総合支援窓口に来訪されたことがきっかけです。

支援概要

はじめに、菌根菌のオーソリティーである石井孝昭博士（（一財）日本菌根菌財団理事長）の指導を受け、専門家（橋本弁理士）を活用して支援した結果、共同特許取得（特許 6470811 号）に至りました。また、同専門家を活用して、室内空気中の汚染物質を分解・吸収し、心身のリラクゼーション効果のある観葉植物を用いた「空気浄化装置」についても特許出願し、JAPIO による先行技術調査結果を受けて、早期権利化（特許 7299649 号）を支援しました。また室内のバイオフィリック緑化を目指して hidroカルチャー植物用培地、水位計についても WEB 情報などを紹介し、早期権利化（実用新案 3241737 号）を支援しました。

支援成果

特許出願・権利化を通じて技術的な強みを明確にできたので、ドーハ国際園芸博覧会において、半年間、農水省の窓口としてパブリックビューイング (<https://www.g-planet.com/philosophy/index17.html>) に採択され、企業の考え方や緑化での競合に対する強みなどの適切なアピールができました。会社概要、バイオフィリック緑化、空気清浄装置（特許関連）、hidroカルチャー技術、有機肥料、室内緑化事例を紹介しています。



企業コメント

創業から35年、一貫して土を使用しないhidroカルチャー観葉植物を関東、中部、沖縄にある自社直営農場で生産し、近年はバイオフィリックデザイン緑化などを設計から施工、メンテナンスまでナチュラルオーガニックで行っています。そのための独自技術のフォローに感謝しています。

窓口担当者コメント（氏名：井上 勝）



同社は更に国交省のヒートアイランド現象の緩和、グリーンインフラによる国土強靱化対応として、「蓄雨型植物養生システム」についても特許出願に向けて研究開発を進めています。雇用面でも農業・福祉連携にも積極的に取り組んでいて、引き続き支援を継続しています。